

令和6年度 三郷市学校評価システム 本評価:学校関係者評価シート

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.63	4.00	R5 3.47 → R6 3.63 ・学校長の明確なビジョンの下、組織的に取り組むことができています。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあつている。	3.52		R5 3.30 → R6 3.52 ・年度を超えてPDCAサイクルを達成している。 ・サイクルは実施している。より良い改善策を考えるとともに、精選していきたい。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.63		R5 3.27 → R6 3.63 ・ICTの活用、メタルヘルスの向上に努めている。 ・学校の実態をより分析していく。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.48	4.00	R5 3.27 → R6 3.48 ・ICTの活用、メタルヘルスの向上に努めている。 ・共通理解のもと、分掌を生かしながら取り組んでいる。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.81		R5 3.60 → R6 3.81 ・倫理確立委員会や打ち合わせ等で周知できている。輪番制での実施は、当事者意識の向上につながっている。研修も行いたい。時間の確保が課題である。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.81		R5 3.50 → R6 3.81 ・相互授業参観により、授業力を高めている。 ・相互授業参観(教科・部会)を年4回、計画的に実施することができている。
授業等の状況	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.81		R5 3.30 → R6 3.81 ・ミライシートや百問線乱を活用し、ICT化を図っている。 ・ICTの活用は充実している。まなびポケットやオクリンクを話し合い活動の手段として授業に取り込んでいる。
	8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.44		R5 3.27 → R6 3.44 ・目に見える学力には結びついていない。さらなる研修や研究が必要である。 ・若い教職員も多いため、より研修を積み重ねていく必要である。学力を意識した小中連携も必要と考えられる。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあつている。	3.70		R5 3.30 → R6 3.70 ・共通理解は図れているが、教員毎の基準にズレが生じている。学年間、教科主任等で情報共有する必要がある。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.70	4.00	R5 3.27 → R6 3.70 ・学級経営や教室環境などのよい取組を互いに共有することで、より落ち着いた雰囲気構築できると思う。 ・学級差はあるが、生徒の実態や学級の状況に応じて実施できている。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.96	4.00	R5 3.47 → R6 3.96 ・ビブリオバトルの取組が効果的。 ・落ち着いた雰囲気の中、朝読書が実施されている。生徒・教職員のビブリオバトル、外部指導者を招聘しての研修を実施し、充実している。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.78	4.00	R5 3.27 → R6 3.78 ・ビブリオバトルの取組が効果的。 ・専門委員会やビブリオバトルを通して、生徒主体の読書活動につながっていると感じる。
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.33		R5 3.17 → R6 3.33 ・食育としての研究はあまり進んでいない。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.26	3.63	R5 3.37 → R6 3.26 ・各種行事が精選されている中で、体育科が工夫して体力向上に取り組んでいる。部活動は課題であるが、参加している生徒は懸命に取り組んでいる。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.41		R5 3.17 → R6 3.41 ・道徳教育の推進にもう少し力を注ぐ必要がある。 ・ローテーションによる道徳により、実施できている。今年度は研修の実施ができなかった。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.37		R5 3.30 → R6 3.37 ・教職員は指導しているが、教科横断的な考えを意識して取り組んでいるかといえば、疑問は残る。
指導・管理の状況	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.44		R5 3.37 → R6 3.44 ・職員の意識の差がある。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.52	3.88	R5 3.57 → R6 3.52 ・全職員が、進んで挨拶をすることができていない。 ・「自らあいさつ」が弱い。 ・あいさつの実施、未実施については生徒間の差があるが、指導はしている。
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.04		R5 3.03 → R6 3.04 ・言葉遣いが荒い教職員もいる。 ・指導はしているが、生徒の姿に反映されているかに関しては、今後の課題である。
	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.81		R5 3.57 → R6 3.81 ・教育相談部会が充実していた。 ・日頃の取組も教職員一丸とできている。ただし、生徒指導上の諸課題は時代によってかわるので、実態や状況を見定め、取り組んでいく必要がある。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあつている。	3.70		R5 3.53 → R6 3.70 ・学校長の明確な指示の下、取り組むことができています。職員の「見通しを持った対応スキル」が上がっている。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.85	3.88	R5 3.73 → R6 3.85 ・毎月の「すこやかチェック」を実施し、把握に努めている。
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.59		R5 3.33 → R6 3.59 ・危機管理マニュアルは作成しているが、徹底不足である。学校長の指示の下、迅速な対応できる体制は整っている。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.26	3.88	R5 3.07 → R6 3.26 ・安全点検が不十分に感じる。 ・安全点検への意識が低い。高めていく必要がある。
	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.44	3.88	R5 3.00 → R6 3.44 ・清掃指導に温度差が見られる。 ・清掃しきれない箇所もある。 ・全体的に無言清掃はできている。生徒への指示・指導については、職員差がある。
家庭地域との連携状況	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.70		R5 3.33 → R6 3.70 ・ICTの活用をはじめ、ペーパーレスに取り組んでいる。年3回の「定時退勤ウィーク」の設定により、昨年に比べ、時間外勤務が減少している。
	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.70	4.00	R5 3.53 → R6 3.70 ・最新の情報を学校だより、HPIにて発信している。HPIについては、担当職員における更新が課題である。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.52	4.00	R5 3.53 → R6 3.52 ・学校応援団に加え、学校運営協議委員の協力をいただき、生徒対象の体験活動を実施した。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.67	4.00	R5 3.67 → R6 3.67 ・PTAの環境整備や早中フェス等に積極的に協力している。